

全国学力・学習状況調査について

1. 調査の目的

- 国が、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

2. 調査実施日

平成31年4月18日（木）

3. 調査の対象

泉佐野市立佐野中学校 第3学年、全生徒

実施生徒数（ 240人 ）

4. 調査の内容

(1) 学力に関する調査

ア 教科は、小学校は国語及び算数、中学校は国語、数学及び英語。

イ 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、知識・技能に関する内容と、それらを活用する力や構想を立てて実践し評価・改善する力などに関する内容とする。

ウ 出題形式については、国語及び算数・数学においては、選択式及び短答式に加え、記述式の問題とする。英語においては、選択式、短答式及び記述式の問題に加え、「話すこと」に関する問題の解答は、原則として口頭式によるものとする。

(2) 学習状況に関する調査

調査する学年の児童生徒を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査を実施する。

(3) 学校の取組に関する調査

調査対象の児童生徒が在籍する学校を対象に、学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査を実施する。

※平成29年度より、文部科学省から示される都道府県の平均正答率及び市町村の平均正答率は、整数となっております。

平成31年度全国学力・学習状況調査の分析（国語）

1. 全体の傾向

平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じであるが、全国と比べ上位層が少なく、中位層・下位層が多い傾向が見られる。

平均正答率（本校 61／泉佐野市 65／大阪府 70／全国 72.8）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

| 国語 | 特徴がみられた設問 |
|--|--|
| <p>【読むこと】</p> <p>○文章の構成や展開，表現の仕方について，根拠を明確にして自分の考えをもつことに課題がある。</p> <p>1一 「日本の文化の中には，海外でも広く知られているものがあります。……第一回は，弁当です。」について説明したものとして適切なものを選択する (53.1/63.9)</p> <p>○文章の展開に即して情報を整理し，内容を捉えることに課題がある。</p> <p>2二 「海外に広がる弁当の魅力」で述べられている，弁当の魅力として適切なものを選択する (53.6/61.5)</p> <p>○文章に表れているものの見方や考え方について，自分の考えをもつことに課題がある。</p> <p>1三 「みんなの短歌」に掲載されている短歌の中から一首を選び，感じたことや考えたことを書く (79.5/91.2)</p> <p>【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】</p> <p>○封筒の書き方を理解して書くことに課題がある。</p> <p>1四 「声の広場」への投稿を封筒で郵送するために，投稿先の名前と住所を書く (45.6/56.8)</p> <p>○語の一部を省いた表現について，話や文章の中での適切な活用の仕方を理解することに課題がある。</p> <p>4 語の一部を省いた表現についての説明として適切なものを選択する (69.0/78.7)</p> | <p>【話すこと・聞くこと】</p> <p>○話合いの話題や方向を捉えることに課題がある。</p> <p>2一 話合いでの発言の役割について説明したものとして適切なものを選択する (67.8/80.4)</p> <p>○相手に分かりやすく伝える表現について理解することに課題がある。</p> <p>2二 話合いでの発言について説明したものとして適切なものを選択する (59.4/69.7)</p> <p>○話合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつことに課題がある。</p> <p>2三 話合いの流れを踏まえ，「どうするか決まっていないこと」について自分の考えを書く (49.0/60.4)</p> <p>【書くこと】</p> <p>○書いた文章を読み返し，論の展開にふさわしい語句や文の使い方を検討することに課題がある。</p> <p>3一 意見文の下書きに書き加える言葉として適切なものを選択する (78.7/87.4)</p> <p>○伝えたい事柄について，根拠を明確にして書くことに課題がある。</p> <p>3二 広報誌の一部にある情報を用いて，意見文の下書きに「魅力」の具体例を書き加える (58.6/77.8)</p> |

3. 学習状況調査より

| 質 問 項 目 | 本校 | 全国 | 10%○ 5%◇ | 差 |
|--|------|------|-------------|------|
| 国語の勉強は好きですか | 47.9 | 61.7 | ○ | 13.8 |
| 国語の勉強は大切だと思いますか | 80.4 | 91.0 | ○ | 10.6 |
| 国語の授業の内容はよく分かりますか | 53.7 | 77.6 | ○ | 23.9 |
| 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか | 73.8 | 88.0 | ○ | 14.2 |
| 国語の授業で学習したことを、普段の生活の中で、話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用しようとしていますか | 57.9 | 71.6 | ○ | 13.7 |
| 国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしていますか | 51.2 | 77.4 | ○ | 26.2 |
| 国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝わるように根拠を示したりするなど、話や文章の組み立てを工夫していますか | 43.7 | 64.4 | ○ | 20.7 |
| 国語の授業で文章や資料を読むとき、目的に応じて、必要な語や文を見つけたり、文章や段落どうしの関係を考えたりしながら読んでいますか | 54.6 | 68.4 | ○ | 13.8 |
| 解答時間は十分でしたか（国語） | 87.1 | 90.3 | | 3.2 |

○自分の考えをもち、それを表現することが苦手である。

○記述式の問題は、全国と比べて無回答率が高い。

○すべての問題において、正答率が全国平均より大幅に下回っている。

平成31年度全国学力・学習状況調査の分析（数学）

1. 全体の傾向

平均正答数が全国と比べ上位層が少なく，中位層・下位層に偏っている。

平均正答率（本校 49／泉佐野市 54／大阪府 58／全国 59.8）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

| 数学 | 特徴がみられた設問 |
|---|---|
| <p>【数と式】</p> <p>○簡単な連立二元一次方程式を解くことに課題がある。</p> <p>2 「連立二元一次方程式 $y = -2x + 1$，$y = x - 5$」を解く (59.6/70.1)</p> <p>○与えられた説明を振り返って考え，式変形の目的を捉えることに課題がある。</p> <p>9 (1) $6n + 9$ を $3(2n + 3)$ に変形する理由を説明する (39.6/57.4)</p> <p>○事柄が成り立つ理由を説明することに課題がある。</p> <p>9 (2) 連続する5つの奇数和が中央の奇数の5倍になることの説明をする (45.8/59.7)</p> <p>○総合的・発展的に考察し，得られた数学的結果を事象に即して解釈することに課題がある。</p> <p>9 (3) 連続する4つの奇数和 $4(2n + 4)$ の $2n + 4$ がどのような数であるのか選ぶ (60.8/69.6)</p> | <p>【図形】</p> <p>○反例の意味を理解しているかに課題がある。</p> <p>7 (2) ある予想に対して与えられた図が反例となっていることの説明を選ぶ (65.8/77.2)</p> <p>○結論が成り立つための前提を考え，新たな事柄を見だし，説明することに課題がある。</p> <p>7 (3) 四角形 $ABCD$ がどのような四角形であれば $AF = CE$ になるのかを説明する (41.3/53.3)</p> <p>【関数】</p> <p>○反比例について，グラフと表を関連付けて理解することに課題がある。</p> <p>4 反比例の表から式を求める (30.8/48.9)</p> <p>○事象を数学的に解釈し，問題解決の方法を数学的に説明することに課題がある。</p> <p>6 (2) 冷蔵庫 B と冷蔵庫 C について式やグラフから2つの総費用が等しくなる使用年数を求める方法を説明する (21.3/34.7)</p> |
| <p>【図形】</p> <p>○平行移動を理解しているかに課題がある。</p> <p>3 $\triangle ABC$ を $\triangle DEF$ までへ平行移動した時の移動距離を求める (75.8/83.6)</p> <p>○証明の根拠として用いられる三角形の合同条件を理解しているかに課題がある。</p> <p>7 (1) 証明で用いられる三角形の合同条件を書く (65.8/75.8)</p> | |

| | |
|---|---|
| <p>【資料の活用】</p> <p>○簡単な場合について確率を求めることに課題がある。</p> <p>5 2枚の10円硬貨を同時に投げる時、2枚とも表の出る確率を求める (62.1/72.8)</p> <p>○資料を整理した表から最頻値を読み取ることにより課題がある</p> <p>8 (1) 表から読んだ本の冊数の最頻値を求める (50.0/57.9)</p> | <p>○資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。</p> <p>8 (2) 「1日に26分ぐらい読書をしている生徒が多い」という考えが適切ではない理由をヒストグラムを基に説明する (28.3/40.8)</p> <p>○問題解決するためにどのような代表値を用いるべきか判断することに課題がある。</p> <p>8 (3) 図書だよりの下書きのわかったことの根拠となる適切な値を選ぶ (38.8/53.6)</p> |
|---|---|

3. 学習状況調査より

| 質 問 項 目 | 本校 | 全国 | 10%○ 5%◇ | 差 |
|--|------|------|-------------|-----|
| 数学の勉強は好きですか | 32.5 | 30.7 | | 1.8 |
| 数学の勉強は大切だと思いますか | 45.0 | 49.8 | | 4.8 |
| 数学の授業の内容はよく分かりますか | 38.3 | 34.8 | | 3.5 |
| 数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか | 36.7 | 40.3 | | 3.6 |
| 今回の数学の問題について、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありましたが、どのように解答しましたか | 57.9 | 60.8 | | 2.9 |
| 解答時間は十分でしたか | 60.0 | 50.4 | ◇ | 9.6 |

○学習状況調査の中で全国との差が5%以上10%未満の差が1項目、10%以上の差があるものはなかったことより、昨年度と比べて全国との差は縮まっている。

○いくつかの項目で全国より上回っているものがある。

○「数学の勉強は好きですか」「数学の授業の内容はよく分かりますか」の質問項目では、全国平均を上回っているものの、学力状況調査で正答率が全国平均を下回っており、学習の定着に課題があると考えられる。

平成31年度全国学力・学習状況調査の分析（英語）

1. 全体の傾向

平均正答数の全体的な分布状況は中間層がそれほど伸びずに上位層と下位層がそれぞれ伸びている傾向がある。従って全国の分布状況は正規分布になっているので本校と分布状況が異なる。

平均正答率（本校 51／泉佐野市 53／大阪府 56／全国 56.0）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

| 英語 | 特徴がみられた設問 |
|--|---|
| <p>【聞くこと】</p> <p>○まとまりのある英語を聞いて、話の概要を理解することが概ね出来ているが、情報を正確に聞きとることに課題がある。</p> <p>1（2）教室英語を聞いて、その指示の内容を適切に表している絵を選択する (79.2/88.6)</p> <p>1（3）外国人の先生と女子生徒の会話を聞いてその内容を最も適切に表している絵を選択する (65.0/72.3)</p> <p>【読むこと】</p> <p>○書かれた内容に対して、自分の考えを示すことができるように話の内容や書き手の意見などをとらえることが概ね出来ているが、日常的な話題について簡単な語句や文で書かれたものの内容を正確に読み取ることに課題がある。</p> <p>5（1）ある場所を説明する英文を読んで、空所に入る語句として最も適切なものを選択する (73.3/79.4)</p> <p>5（3）月ごとの平均気温を表したグラフを見て、その内容を正しく表している英文を選択する (65.4/73.1)</p> | <p>【書くこと】</p> <p>○与えられたテーマについて考えを整理して、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書くことが概ね出来ている。</p> <p>○文の中で適切に接続詞を用いることに課題がある。</p> <p>9（1）①文中の空所に入れる接続詞として最も適切なものを選択する (72.9/79.9)</p> <p>○一般動詞の2人称単数現在時制の肯定文を正確に書くことに課題がある。</p> <p>9（2）①与えられた英語を適切な形に変えたり不足している語を補ったりなどして会話が成り立つように英文を書く (56.3/73.6)</p> <p>○与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制の肯定文を正確に書くことに課題がある。</p> <p>9（3）①与えられた情報に基づいて、ある女性を説明する英文を書く (40.8/53.5)</p> <p>9（3）②与えられた情報に基づいて、ある女性を説明する英文を書く (26.3/32.9)</p> <p>【話すこと】</p> <p>○適切に強勢を置き、交通手段に関する基本的な表現を理解して、応答することがよく出来ている。</p> <p>○月日に関する基本的な表現を理解して、応答することに課題がある。</p> <p>1（1）カレンダーを見て、少女の誕生日を答える (9.7/11.3)</p> <p>○基本的な文法（現在進行形）を理解して、応答することに課題がある。</p> <p>1（2）テレビを見ている2人の子供の絵を見て、何をしているのか考える (36.6/44.7)</p> <p>○与えられたテーマについて考えを整理して、まとまりのある内容を話すことに課題がある。</p> <p>3 海外のテレビ局の要望に応じて、自分の将来の夢、またはやってみたいこと等を話す (34.5/45.8)</p> |

3. 学習状況調査より

| 質 問 項 目 | 本校 | 全国 | 10%○ 5%◇ | 差 |
|--|------|------|-------------|------|
| 英語の勉強は好きですか。 | 49.2 | 56.0 | ◇ | 6.8 |
| あなたは将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思いませんか。 | 50.0 | 41.3 | ◇ | 8.7 |
| 1, 2年生のときに受けた授業では、英語を聞いて（一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いませんか。 | 64.2 | 79.2 | ○ | 15.0 |
| 1, 2年生のときに受けた授業では、英語を読んで（一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いませんか。 | 60.9 | 81.2 | ○ | 20.3 |
| 1, 2年生のときに受けた授業では、原稿などの準備をすることなく、（即興で）自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていたと思いませんか。 | 45.9 | 62.9 | ○ | 17.0 |
| 1, 2年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思いませんか。 | 41.7 | 77.2 | ○ | 35.5 |
| 1, 2年生のときに受けた授業では、自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていたと思いませんか。 | 71.7 | 80.1 | ◇ | 8.4 |
| 1, 2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていたと思いませんか。 | 44.6 | 77.4 | ○ | 32.8 |
| 1, 2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いて間とまとめた自分の考えを英語で書いたりする活動が行われていたと思いませんか。 | 54.6 | 74.6 | ○ | 20.0 |
| 解答時間は十分でしたか（英語）。 | 74.2 | 63.0 | ○ | 11.2 |

○将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思っている生徒が全国に比べて上回っている。

○授業の中で、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が全国より下回っている。

○授業の中で、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が全国より下回っている。

平成31年度全国学力・学習状況調査の分析（生徒質問紙より）

本校の生徒の意識調査を、質問に対して4択で選ぶものは、選択肢1, 2と3, 4はそれぞれ同じ傾向と捉える。(例えば, 1. 当てはまる 2. どちらかといえば, 当てはまる 3. どちらかといえば, 当てはまらない 4. 当てはまらない)

また, それ以外の質問は特徴的な事柄を取り出し, それらを全国と比較している。

下記の表には全国と比較して5%以上の差のあるものの中で, 特徴的な項目を列挙した。さらに, 下線部に関しては10%以上の差のあるものを示している。

設問内容種類別の全国との比較で差が大きい特徴のある項目

| 設問内容種別 | 本校の状況 | 本校（本校回答率 / 全国回答率） |
|-------------|--|--|
| 【家庭での生活の様子】 | 家族との関係が希薄になりつつあり, 将来の夢や目標を持っている生徒も少ない。 地域行事や地域・社会の問題に関心が希薄で, 地域の大人との交流も少ない。 | (1) 朝食を毎日食べていますか (85.9/93.1) (3) 毎日, 同じくらいの時刻に寝ていますか (72.1/78.0) <u>(4) 家の人と学校での出来事について話をしますか (64.7/74.2)</u> (5) 自分には, よいところがあると思いますか (63.8/76.4) (8) 将来の夢や目標を持っていますか (65.5/70.5) <u>(21) 読書は好きですか (48.3/68.0)</u> <u>(23) 今住んでいる地域の行事に参加していますか (30.9/50.6)</u> (24) 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか (30.0/39.4) (26) 日本やあなたが住んでいる地域のことについて, 外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか (50.8/59.3) |
| 【家庭での学習の様子】 | 放課後の学習時間は多いが, 塾などに行って勉強をしている生徒が多い。 | (17) 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか (44.6/50.4) |
| 【学校での生活の様子】 | 大人から認められていないと感じている生徒が多い。 また, 学校での規則を守れなかったり, 人のためになる行動をしている生徒も少ない。 | (6) 先生は, あなたのよいところを認めてくれていると思いますか (75.5/81.5) (11) 学級みんなで話し合っただけ決めたことなどに協力して取り組み, うれしかったことがありますか (75.9/82.8) (13) 学校の規則を守っていますか (88.3/96.2) (14) 人が困っているときは, 進んで助けていますか (79.6/85.9) (27) 学校の部活動に参加していますか (77.1/86.6) |

| | | |
|--------------------|--|--|
| <p>【学校での学習の様子】</p> | <p>ICTの活用に課題がある。 また、課題の解決に向けて、自らの考えを工夫し発表するなど、積極的に取り組めた生徒は少ない。</p> | <p>(7) 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか (68.8/84.6)</p> <p>(30) 1, 2年生のときに受けた授業で、コンピュータなどのICTをどの程度使用しましたか (20.4/30.6)</p> <p>(31) 授業でもっとコンピュータなどのICTを活用したいと思いますか (72.9/78.3)</p> <p>(32) 生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか (53.4/72.8)</p> <p>(33) 授業で学んだことを、ほかの学習に生かしていますか (61.7/74.9)</p> <p>(34) 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思いますか (35.4/61.5)</p> <p>(35) あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会〔学級活動〕で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思いますか (45.0/71.6)</p> <p>(36) 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいると思いますか (47.9/65.6)</p> <p>(37) 1, 2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか (61.3/74.8)</p> <p>(38) 1, 2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか (44.6/55.8)</p> <p>(39) 1, 2年生のときに受けた授業では、道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思いますか (52.9/76.6)</p> |
|--------------------|--|--|

本校の取組

◎これまでの取組

本校では、「人権尊重の精神に満ちた、心豊かな人間の育成」を教育目標に掲げて教育活動を行っています。そのために本年度の重点目標を「互いに認め合いつながりあい高めあう質の高い集団の育成」と設定し、以下の8つの項目において取組を進めています。

- | | | |
|----------|----------|------------|
| ①学習指導の充実 | ②生徒指導の充実 | ③人権教育の推進 |
| ④支援教育の推進 | ⑤道徳教育の充実 | ⑥健康安全教育の推進 |
| ⑦進路指導の充実 | ⑧環境整備の推進 | |

また、次の3点を本年度の重点課題とし、以下のように取組みを進めています。

(1) 授業改善の推進

言語活動に関する質問「生徒間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」に対して、肯定的な回答が低い数値となっています。(本年度16.7%)そこで、和歌山大学准教授二宮衆一先生を講師として招聘し、年3回の研究授業、それに係る指導案検討、研究討議を通して、言語活動の充実した授業をめざして、授業改善に取り組んでいます。

また、授業の乱れは心の乱れにつながると考え、「授業規律」をしっかりと打ちたて、「めあての提示」「授業時間の流れの提示」「振り返り活動」を定着させています。そのことを通して、子どもたちが授業に向かう姿勢を身につけ、心の乱れを減少させ、学習に取り組むことができるようになると考えています。

(2) 『レベル0』の指導を意識したきめ細やかな生徒指導

「5つのレベルに応じた問題行動への対応チャート」にある「レベル1」に到達しないように「レベル0」を意識し、問題行動の未然防止をめざし取組を進めています。日々の子どもたちの様子の観察や毎月行っている「いじめアンケート」、学期ごとに行っている教育相談を通して、嫌な思いをしている子どもたちがいないかの確認を行うとともに、何かあれば、その日のうちに対応を行うようにしています。

また、Q-U (Questionnaire-Utilities) 『楽しい学校生活を送るためのアンケート』を年2回実施し、集団の状況の把握に努めています。その結果、「学校に行くのが楽しい」と回答した割合が、上昇しています。(45.5%→46.3%)

(3) 生徒の主体的・自立的な活動の推進

生徒会を中心とした集会運営や各種委員会活動の充実、また、「いじめ撲滅」「チャイム着席」「校則改正」の取組など、子どもたちの主体的な活動の機会を増やしています。それぞれの取組において、子どもたちが達成感を感じることで、何事にも主体的に取り組む姿勢を育んでいます。その結果、「学級生活をよりよくするために話し合い、互いに意見のよさを生かして解決方法を決めていると思いますか」という質問に対して、肯定的な回答が上昇しています。(7.9%→14.6%)

◎これからの取組

昨年度末に、泉佐野市立佐野中学校学力向上プランを作成しました。その中で、次の5つのアクションプランを設定しています。

- (1) 安全安心推進…自分を大切にし、感情をコントロールする授業に関する研究・実践
- (2) 家庭学習推進…自主的学習を促進し、家庭学習の充実に関する研究・実践
- (3) 授業学力向上…学びを深めていく授業方法や班学習に関する研究・実践
- (4) 進路保障推進…将来の展望を持つことができるような授業に関する研究・実践
- (5) 地域社会連携…地域との繋がり深化をめざし、開かれた学校づくりに関する研究・実践

これらのアクションプランについてしっかり取り組み、充実させることで、学校目標である「人権尊重の精神に満ちた、心豊かな人間の育成」の達成に近づくことができると考えています。

また、子どもたちの自尊心の低さもひとつの課題であると考えています。「自分にはよいところがある」という質問に対し、肯定的な回答が上昇していますが、まだまだ低い状況です。(15.5%→24.2%)

今の自分に自信が持てないということは、学習面や生活面をはじめ、何事においても自信を持つことができず、さまざまな場面において課題となって表れてくると考えます。ですから、今後とも自尊心を高める取組を続け、自分に自信が持てるようになることを基礎にしながら、上記のアクションプランの取組を通して、学力をはじめさまざまな力の向上に努めていきたいと思えます。